

総合教育会議
2. 11. 26
総合戦略課

## 次期松本市総合計画の進捗状況及び新教育大綱策定方法について

### 1 趣旨

松本市総合計画（基本構想2030及び第11次基本計画）の策定に向けた現在の検討状況、及び新教育大綱の策定方法について報告するものです。

### 2 次期松本市総合計画の進捗状況

#### (1) 総合計画の概要

##### ア 総合計画とは

- ・市が策定する全計画の基本となる最上位計画
- ・まちづくりの基本目標を定めた市政運営の指針となる計画
- ・現行計画は今年度で終了

##### イ 計画の構成

- ・基本構想2030 … 基本目標（期間10年）
- ・第11次基本計画 … 政策の方向性（期間5年）
- ・実施計画 … 事務事業の実行計画（毎年度見直し）

#### (2) 経過

- 元. 9. 24 庁議（兼第1回松本市総合計画策定庁内委員会）で松本市総合計画の策定について協議し、了承
10. 23 市議会総務委員協議会に次期総合計画の策定に着手することについて報告
2. 5. 25 市議会総務委員協議会に現在の検討状況等について報告
7. 9 「松本市基本構想2030市民会議」（以下、「市民会議」という。）を設置し、第1回会議を開催（以後、計4回開催）
11. 18 市議会総務委員協議会に現在の検討状況等について報告

#### (3) 現在の検討状況

##### ア 基本構想2030（令和3年度～令和12年度）

- (ア) 新たな総合計画を市民と共に策定するために、各分野の専門的知見を有する21名の市民からなる市民会議を設置しました。
- (イ) これまでに、4回の会議のほか、適宜オンラインによる会議等を開催し、昨年度実施した基礎調査結果等をもとに、50年、100年先を見据え、現状の課題や松本市の強み・弱み、今後のまちづくりの在り方等を議論しています。
- (ウ) 市民主体の計画策定を具現化するため、基本構想については、原案を市民（市民会議）がとりまとめるという方向性のもと、現在、とりまとめに向けた作業を行っています。

イ 第11次基本計画（令和3年度～7年度）

- (ア) 第10次基本計画の施策評価（振り返り）をもとに、継続すべき施策及びその内容を精査しています。
- (イ) 新たな政策課題の洗い出しを行うとともに、市民会議における意見や議論の方向性を踏まえ、施策立案を行っています。
- (ウ) 基本構想2030の原案がまとめ次第、政策の方向性や施策の体系等を整理し、第11次基本計画の素案としてとりまとめます。

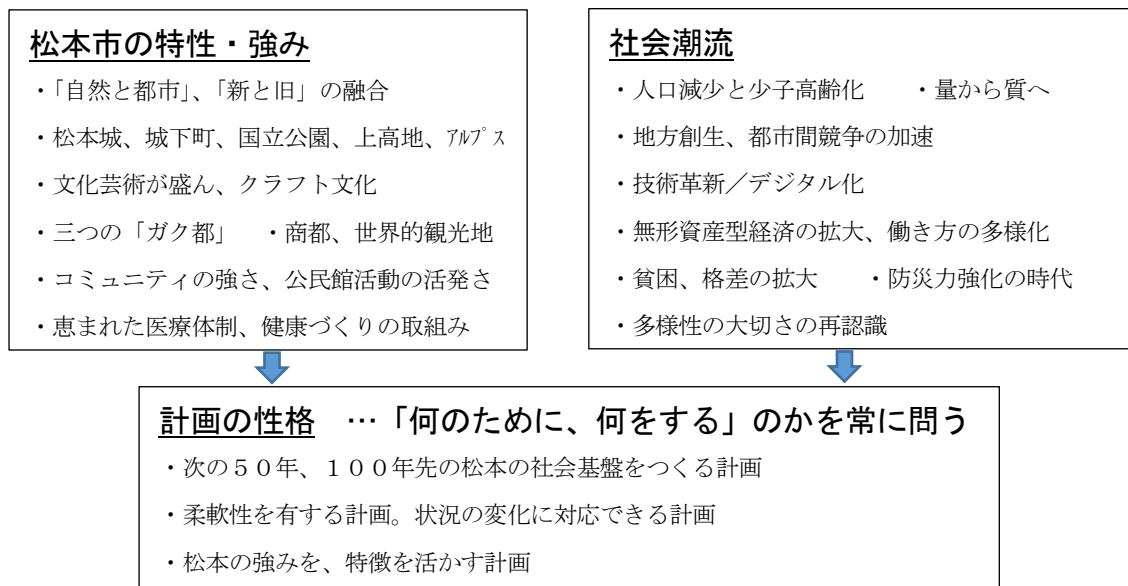
(4) 新たな総合計画の体系等

何よりも「市民にとって分かりやすく、親しみやすい計画」とすることを念頭に、市民会議の議論を踏まえ、次のような視点をもって計画の体系等を整理しています。

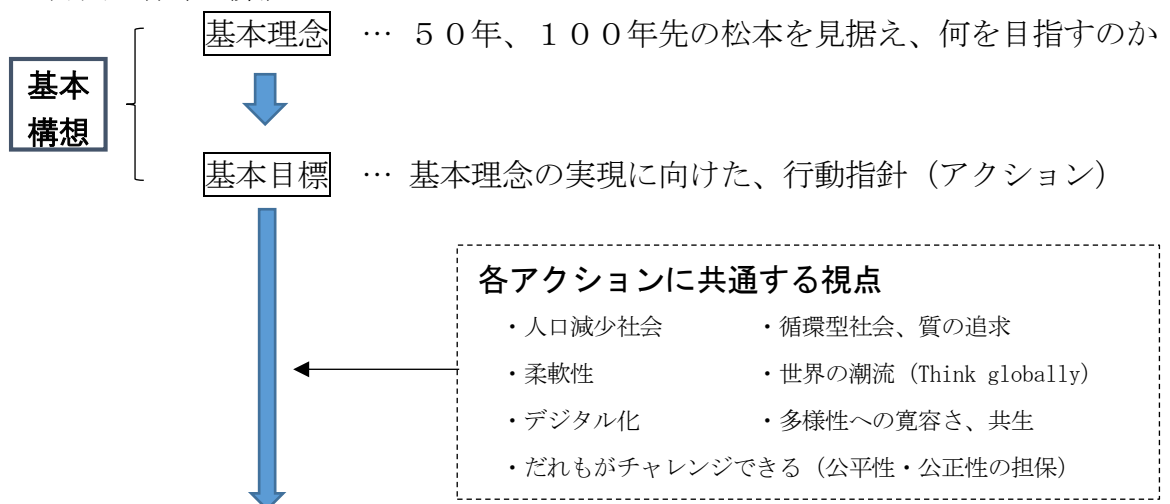
ア 計画の性格（どのような計画にすべきか）

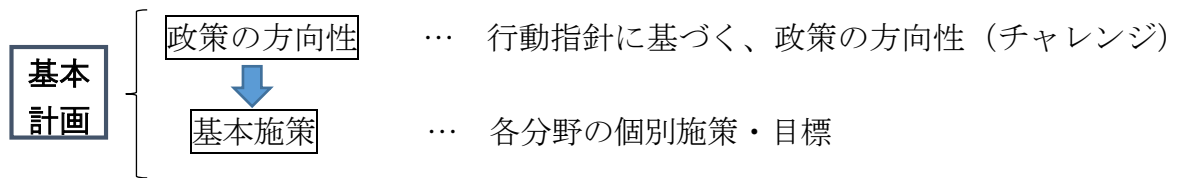
松本が持つ**特性や強み**、現代や近未来の**社会潮流**を捉えた上で、50年、100年先を見据え、この10年で「**何のために、何をするのか**」を主眼に置き、行政や市民の行動目標となるような計画とします。

《参考・市民会議での議論より》



イ 計画の体系（案）

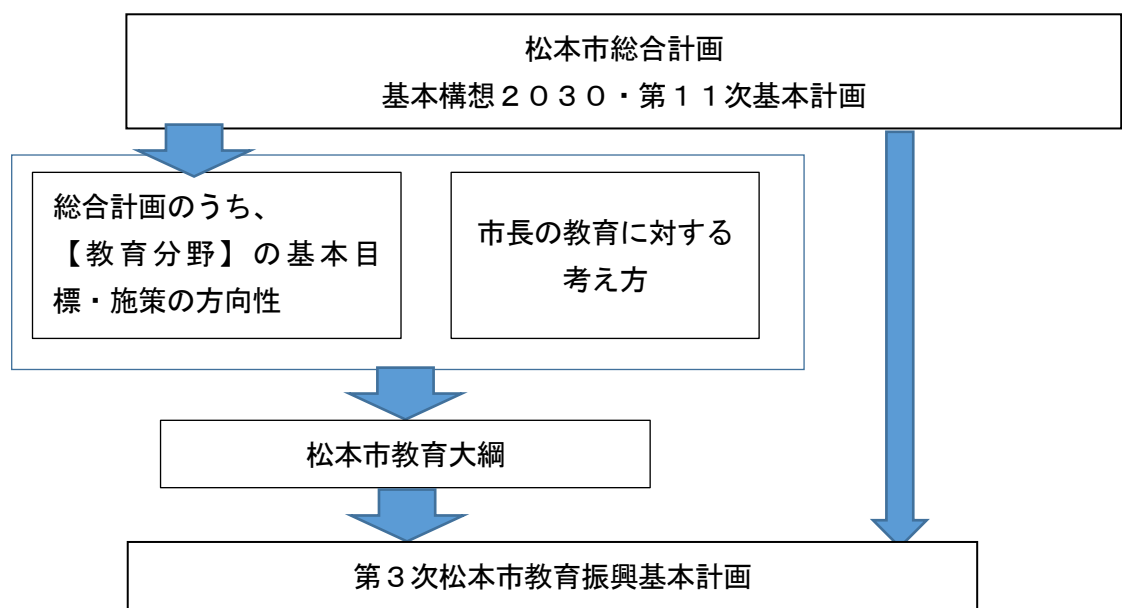




ウ 基本構想2030の体系イメージ 別紙のとおり

### 3 新教育大綱策定方法

市の最上位計画である、松本市総合計画における教育分野の施策との整合性を図り、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項の規定により、総合教育会議での協議の上、市長が策定します。



### 4 今後の進め方

- (1) 松本市総合計画の策定の進捗に合わせ、新教育大綱（案）を作成に着手します。
- (2) 新教育大綱（案）を総合教育会議で協議の上、市長が策定します。

## 基本構想2030の体系イメージ

## 計画の性格

- ・「何のために、何をする」を常に問う。
- ・次の50年、100年先の松本の社会基盤をつくる計画
- ・柔軟性を有する計画。状況の変化に対応できる計画
- ・松本の強みを、特徴を活かす計画

## 行政や市民の行動目標

## みとめる

一人ひとりが  
自分らしく  
生き、支え合う

## いどむ

新たな社会的価値の  
創出に挑戦し  
常に進化を続ける

## まなぶ

ともにはぐくみ  
学び続ける

## 基本理念

(コンセプト)  
3ガク都の  
バージョンアップ

岳

自然豊かな環境に感謝し

楽

日々の暮らしや文化・芸術を楽しみ

学

共に生涯学び続ける

## つなぐ

街・人・自然  
をつなぎ  
未来にわたす

## いかす

自然・歴史・文化の  
恵みを受け継ぎ  
磨き続ける

## 基本目標